

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2003-176994 (P2003-176994A)

【公開日】平成 15 年 6 月 27 日 (2003.6.27)

【出願番号】特願 2002-284667 (P2002-284667)

【国際特許分類第 7 版】

F 2 8 F 9/02

【 F I 】

F 2 8 F 9/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも 1 つのパイプがチューブプレート (1 1 4) に接続され、該チューブプレート (1 1 4) がチャンバ (1 1 6) に接続され、このチャンバ (1 1 6) が、側方部分 (1 2 0) により前記プレート (1 1 4) に結合された底部 (1 1 8) を備えたセクションによって形成される形式の、薄いチューブプレートを備えた化学反応器又は熱交換器一般として用いられる装置 (1 1 0) であって、前記チューブプレート (1 1 4) と前記チャンバ (1 1 6) の底部 (1 1 8) との間に接続要素 (1 2 2) が設けられていることを特徴とする装置 (1 1 0) 。

【請求項 2】 前記接続要素 (1 2 2) は、前記チャンバ (1 1 6) の側方部分 (1 2 0) に類似する形状を有する平坦な又は円筒形の部分であることを特徴とする、請求項 1 に記載の装置 (1 1 0) 。

【請求項 3】 前記接続要素 (1 2 2) は、前記チャンバ (1 1 6) の前記側方部分 (1 2 0) の内部で、前記プレート (1 1 4) に垂直な前記パイプの軸線に関して対称になる位置に配置されていることを特徴とする、請求項 1 に記載の装置 (1 1 0) 。

【請求項 4】 前記接続要素 (1 2 2) は、軸線方向に対称な円筒形部分からなることを特徴とする、請求項 3 に記載の装置 (1 1 0) 。